

BMG

ベータ2-マイクログロブリンキット

β 2-マイクログロブリン (β 2-m) は、99個のアミノ酸残基 (分子量約11,800) からなる低分子蛋白質で糖鎖を含まない一本鎖ポリペプチドです。 β 2-mはリンパ球などの有核細胞で産生され、IgGや組織適合性抗原であるヒト白血球抗原 (HLA) の不変部と類似構造を持っています。

通常、 β 2-mは腎糸球体基底膜を容易に通過し、尿管において大部分が再吸収され異化されます。したがって、尿管に再吸収障害があると β 2-mが尿中に多量に排泄されることとなります。一方、腎糸球体濾過量 (GFR) が低下すると血中の β 2-m濃度が上昇するため、両疾患の鑑別が可能です。

尿中 β 2-mが上昇する疾患意は、重金属中毒症、Fanconi 症候群、Wilson 病などが、一方血清 β 2-mが上昇する疾患には慢性腎炎、ネフローゼ症候群、悪性腫瘍、自己免疫疾患などがあり、 β 2-mの測定はそれらの疾患の診断、経過および予後判定に応用されています。¹⁾

1) 伊藤喜久 : β 2マイクログロブリン. 広範囲血液・尿化学検査 (上巻)、日本臨牀増刊号、230-232 (1995)

仕様

試薬構成

免疫反応試薬	Eテスト「TOSOH」II (BMG)	(100テスト/箱)
標準品	Eテスト「TOSOH」II (BMG) 標準品セット	(6濃度、各2本/箱)
検体希釈液	Eテスト「TOSOH」II (BMG) 検体希釈液	(100mLx4本/箱)

対象検体種 血清、ヘパリン血漿、尿

※BMGは血清およびヘパリン血漿で51倍以上、尿で5倍以上希釈して測定します。ただし、透析患者などの検体ではこの限りではありません。検量域内に入るように適宜希釈倍率を変更してください。

※BMGは酸性側で分解・変性を受けることがあります。検体を保存する際に、特に酸性尿は、専用の検体希釈液にて希釈後保存するなどの注意が必要です。

測定時間 免疫反応時間 10分 (1ステップサンドイッチ法) 結果報告 約20分

測定範囲 0.002~0.4 mg/L

健常人参考値 血清 : 0.85~1.62 mg/L

(社内データ) 尿 : 0.027~0.265 mg/L